国際科学五輪 参加生徒全員がメダル獲得

数学、情報、物理、化学

金6 銀9 銅4

国際科学オリンピック参加者の高校生が凱旋帰国した。

7月3日から13日まで行われた第55回国際数学オリンピックでは、6人の参加者すべてがメダルを獲得した。今回は南アフリカ共和国（ケープタウン）で開催され、101の国と地域から560人が参加した。金メダルは、早稲田高校3年の上芝隆宏さん、筑波大附属駒場高校3年の隈部壮さん、洛星高校3年の早川知志さん、東海高校3年の山本悠時さんが獲得。銀メダルは筑波大附属駒場高校3年の大場亮俊さん、銅メダルは開成高校1年の井上卓哉さんが受賞した。

7月13日から20日まで行われた第26回国際情報オリンピックでも参加者4人すべてがメダル獲得。台湾（台北）で開催され、81の国と地域から311人が参加した。金メダルは開成中学3年の高谷悠太さんが、銀メダルは開成高校1年の伊佐碩恭さんと灘高校3年の小倉拳さん、銅メダルは大阪府立茨木高校3年の佐藤竜馬さんが受賞した。

7月13日から21日まで行われた第45回国際物理オリンピックでも参加者5人すべてがメダルを獲得した。カザフスタン共和国（アスタナ）で開催され、85の国と地域から383人が参加した。銀メダルは、大阪星光学院高校3年の親川晃一さん、開成高校3年の杉浦康仁さん、岐阜県立岐阜北高校3年の林達也さん、宮崎県立宮崎西高校3年の丸山義輝さんが獲得。銅メダルは灘高校2年の濱田一樹さんが受賞した。

7月20日から29日まで行われた第46回国際化学オリンピックも参加者4人全員がメダルを獲得。ベトナム社会主義共和国（ハノイ）で開催され、75の国と地域から291人が参加した。金メダルは白陵高校3年の福永隼也さん。銀メダルは白陵高校3年の正田浩一朗さん、筑波大附属駒場高校3年の森田峻平さんが、銅メダルは豊島岡女子学園高校3年の林杏果さんが受賞した。